

入学予定者への入学前 ID 発行と予定者向けサイトの構築

中澤和紀¹⁾ 北山広喜²⁾ 増井恵理子³⁾

¹⁾²⁾³⁾京都大学 国際高等教育院

¹⁾²⁾³⁾730joho2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

ID Provision to New Students before Enrollment and Development of a Web Site for Them

Kazunori Nakazawa¹⁾ Hiroki Kitayama²⁾ Eriko Masui³⁾

¹⁾²⁾³⁾Institute for Liberal Arts and Sciences, Kyoto University

概要：大学教育の質保証の観点から学事暦が窮屈になっており、4月の新学期開始までの日程に余裕がなくなっている。大学新生にとって入学直後には様々なガイダンスを受けつつ、選択科目の履修登録を慌ただしいスケジュールで行うことになりガイダンスの形骸化や不十分な情報による科目選択などの問題が懸念される。とりわけ入学試験の結果発表から入学までの日程の余裕が少ない国立大学ではこの問題は重要である。本報告では京都大学で2016年度から開始した取組として、学部入学予定者へのIDの入学前発行と、さまざまな登録や大学での学修に必要な情報の提供を行うWebサイトの構築と運用経験について報告する。

1 はじめに

京都大学ではかねてから、学部生は合格発表後から入学式までの諸々の手続き、ガイダンス等に時間的余裕がなく、入学予定者は慌ただしいスケジュールで郵送による書類手続きをこなし、全学共通科目(京都大学の教養・共通教育)、全学機構、所属学部・学科等のガイダンスに右も左もわからないまま、機械的に参加していく状況であった。しかし、手続きの中には、大学制度の概要を知識として持ったうえで、高校とは異なり自ら学ぶ内容を決めていくという主体的な学習への切り替えを必要とするものが含まれている。余裕のないスケジュールと短期間に集中するガイダンスでは、必要な情報が消化不良になっていないか、また、必要な情報を得ていたとしても、学生自身が自らの責任で考え、的確な判断を下せているのか、心もとない状況のまま授業開始に至る実状があった。

入学期の慌ただしいスケジュールとなっていた要因として以下の2点が挙げられる。

- ひとつは3月の諸手続きなど大学・学生間のやりとりが郵送で行われていたことが挙げられる。もしこれらの手続きがオンライン化できれば、配送に要する時間に加え、大学側での処理も電子化され、スケジュールはかなり余裕の持ったものへと変更可能である。ただし、そのためには個人認証の仕組みが必須である。
- もうひとつは、4月の種々のガイダンスで大量の情報(本学の規則や制度)が伝達されることである。これら指導の一部を事前にWebで代替できれば、ガイダンスの内容を精選し、軽量化できる。

このような問題点と解決の方向性をふまえ、入学後に必要な情報を提供すること、入学前の手続きをオンラインで済ませること、一部のガイダンス内容をe-learning化し学んでもらうことを目的とした入学予定者サイトを構築した。

2. サイト構築の体制

入学予定者サイトの構築にあたっては ID や学籍管理など学内関係部署との連携が求められる。学内で個人認証を統括している情報環境機構に入学予定者への ID 発行の早期化について協力を依頼した。また、学籍を管理している教育推進・学生支援部教務企画課，学生系基幹システムを運用している企画・情報部情報推進課など関係部署へ協力要請し，サイト構築のためのワーキンググループを設置した。

3 入学予定者への ID の入学前発行

京都大学ではかねてから学内での様々な情報サービスをシングルサインオンで利用できるようにした学生用アカウント (ECS-ID) を在学生に提供している。入学予定者サイト用のアカウントに，ECS-ID を利用できれば，入学予定者は与えられたアカウントを入学後も継続して利用できる。他大学での実践事例もあり[1]，情報環境機構で ECS-ID の入学前発行について検討したその結果，入試合格者に対してアカウントを発行することが可能であるとの結論を得，各学部から入学予定者に郵送する入学手続き書類一式と ECS-ID の通知書を同封し，郵送することとした。

大半の入学予定者への ID 発行はこの方法でよかったが，少数の予定者で問題が起きた。具体的には，入学予定者の一部に現在，本学の学籍を有しており，再度，本学を受験した者がいた。このような予定者は ECS-ID から紐づけられる学生番号として既存の学籍が優先され，入学予定者としてのデータが参照されなかったため入学予定者として入学予定者サイトにログインできなくなっていた。これは正式な学籍の発行前に ID を交付したことで ID から学籍への紐付けが多重化したことにある。今後，入学予定者サイトを大学院合格者にも展開することを予定しているが，大学院については，合格時期も多様であり，なおかつ，かなりの割合で

京都大学の学部等の在籍者となるため影響は深刻である。現在，入学予定者を含めた 2 つ以上の学籍を持つ学生にも対応するよう開発を進めている。

3 入学予定者サイトの構築

3.1 入学予定者を対象とする業務の概要

入学予定者サイト構築の具体的説明の前に，入学予定者に対して従来行っていた業務を示す。

入学前の手続きとして，大学は入学予定者へ合格発表後に 2 回，郵送による書類手続きを求めている。1 回目は合格後で，入学料の振り込みを確認している。2 回目は学生番号通知書，授業料納入案内，生協案内，保険関係案内等を送付するとともに住所登録，外国語選択手続の提出を求めている。これらの提出はショートノータイスであり，入学予定者は様式を受け取ってすぐに返送しなくてはならない状況であった。さらに 28 年度からは少人数教育科目「ILAS セミナー」について選択科目の抽選申込手続きも追加される予定であった。科目の選択については大学での主体的な学習への心構えや，大学制度の概要を知識として持つておくことが求められる。従来の運用では適切な科目選択が行えず，入学予定者の学習動機の低下を招く懸念があった。

ガイダンスは，4 月以降入学式までの期間に開催されるが，全学部に通じるものは 1 日を要し，午前中に教養・共通教育についての概要や大学の制度，履修登録などの手続きが説明され，午後は大学の情報サービスの利用法や大学生のコンプライアンスにまつわること等が指導される。学生はいわば缶詰状態で詰め込み教育を強いられていた。学生の集中力も途切れがちで，せっかく聞いてもどこまで頭に残っているかわからないといった不安の声がアンケートに寄せられていた。

入学予定者サイトの構築と並行して，全学共通科目については平成 28 年度から実施される

様々な見直しが行われた[2]。入学時のスケジュールに関連するものとしては時間割のブロック化がある。従来は外国語の科目選択の決定後にクラスごとに時間割を編成していたが、クラス編成方法を見直すとともにこれを学部・学科ごとに必修性の高い科目（外国語科目や理系の基礎教育科目など、卒業に必修もしくは選択必修となる科目）の時間割指定をクラスに関係なく固定化した。これにより、合格時に学生は時間割を知ることが可能になり、選択科目の履修の検討を開始できる。とりわけ、ILAS セミナーは各曜日の 5 限に主に開講しているが、5 限には必修性の高い科目は配置していないので、ILAS セミナーの履修希望を入学前に提出することが可能になった。

3.2 入学予定者サイトの機能概要

入学予定者サイトの機能概要は従来業務の改善と、全学共通科目の見直しによるメリットを活かすことを意識してまとめた。

登録手続きについては、ショートノーティスで学生に負担を強いていたものを中心に下記のものを取り込んだ。

- ・ 学生番号通知
- ・ アルファベット氏名登録
- ・ 住所等登録
- ・ 入試に関するアンケート
- ・ 外国語科目履修選択手続き
- ・ ILAS セミナー抽選申込手続き（新規）

これらの手続きを行う前に、または並行して、大学での主体的な学習に際しての心構えや、単位制度など大学制度の概要を知ってもらうために、大学の学修案内のページも構築することになった。4 月に入ってすぐに必要となる履修登録の手続きの概要や、ブロック化した時間割についての注意事項等、大学での勉学生活に必要な情報の提供を目的としている。

学修案内ページの内容は従来のガイダンスで周知してきた事項も含まれ、4 月にガイダンスへ参加する前に内容の予習が可能となる。それ

でもなお、入学前ガイダンスの内容は盛りだくさんであるため、一部の内容を e-learning にまとめ、事前に自宅で学習できる環境を作ることとなった。これらの e-learning の総称を「e-learning: 大学生活における基本ルール」とし、入学予定者サイトにリンクを付け、入学前に必ず学習するよう指示する形をとった。

3.3 Web サイトの構成

入学予定者サイトには ECS-ID で京都大学全学生共通ポータルにログインすることにより、アクセスできる。

アクセスした全員が必須の手続きを漏れなく完了できるよう、初めてアクセスすると基本情報の登録を行うためのポップアップ画面が表示される。アルファベット氏名登録、住所等登録および入試に関するアンケートは当画面のなかで登録する。基本情報の登録が完了したらホームページ画面に進むことができる。

ホームページには、大きく分けて以下の 6 つのコンテンツがある。

- 1) 学修案内
- 2) 必要な諸手続きと e-learning
- 3) 京都大学生協加入案内へのリンク
- 4) お知らせ掲示板
- 5) 就学支援手続きスケジュール案内など、その他関連サイトへのリンク
- 6) 授業シラバス閲覧、指定時間割閲覧

1) の学修案内と 2) の手続き関係については、相互に確認しつつ、短期間で確実に手続きを済ませることができるようにユーザーの導線を意識し、UI 等デザインを工夫した。

また、1) の学修案内は入学予定者のみでなく、受験生や保護者にも確認してもらえるよう既存の国際高等教育院のサイト内にコンテンツを作成して参照する形式をとった。入学予定者サイトからは手続きの順に沿ってコンテンツを確認していけるようリンクの並べ方を工夫した。

2) に含まれる「e-learning: 大学生活における基本ルール」については、e-learning のコン

テンツを京都大学サイバーラーニングスペースという別システム内で展開したが、開発期間の制約からシステム連携はしていない。受講完了を本サイトに反映させることは諦め、受講が完了した学生に自己申告させる形でチェックボックスにチェックを入れさせることとした。

4) のお知らせ掲示板は京都大学全体および各学部教務担当からのお知らせを随時掲載するものである。

6) の授業シラバス閲覧、指定時間割閲覧では全学共通科目および所属学部専門科目のシラバスや、ブロック化した各学部の指定時間割などを入学前からサイト上で確認できるようにした。これらの情報は、学生が入学前から履修計画を立てるうえでの参考になると考えられる。

その他全体について、当初、PC用の画面だけを開発する予定で進めたが委託業者の協力を得てスマートフォン向けの画面を併せて開発した。その効果については後述する。



図1 入学予定者サイトホーム画面

3.4 供用に際しての懸念事項とその対策

実際にサイトを入学予定者に向けてリリースするにあたり、以下のような懸念事項があったためそれぞれ対策をとった。

- 1) 確実に操作してもらえるか、
- 2) 短期間にオンラインで手続きを漏れなく完了できるか、
- 3) 電話での問い合わせが多数あった場合、対応できるか。

1) については、詳細な操作マニュアルを作成し、入学手続き書類に同封した。2) ついては、操作マニュアルの中にチェックリスト形式の「MUST-DO リスト」を掲載し、オンラインで行う手続き全体のスケジュールを把握してもらうこと、及び完了した手続きにチェックを入れることで未完了の手続きを一目で把握できるようにして対策をとった。

*MUST-DO LIST	
<p>チェックリスト形式になっていますので、“入学予定者サイトWKU: Welcome to Kyoto University について” (P.3) 及び“入学予定者サイト操作マニュアル” (P.4~P.2.4) をよく確認して、諸手続を行ってください。</p>	
<input checked="" type="checkbox"/> 入学手續書類を確認してください。	<input type="checkbox"/> 学生アカウント (ECS-ID) 通知書を開封し、通知書の指示に従いECS-IDを有効にしてください。(P.4)
<input type="checkbox"/> 入学予定者サイトにアクセスし、以下の諸手続を行ってください。(P.5)	
<p>●基本情報の登録とアンケートの回答 (P.6~P.11)</p> <p style="text-align: center;">最初に基本情報の登録が必要です。 3月22日(火)までに次の4つの登録を完了してください。</p>	
<input type="checkbox"/> 学生番号確認: 表示された学生番号(10桁)を確認し、控えてください <input type="checkbox"/> アルファベット氏名登録 <input type="checkbox"/> 住所登録 (e-mail アドレス必須) <input type="checkbox"/> 入試に関するアンケート (一般入試合格者のみ)	
<p>●入学予定者サイト (P.12~P.24)</p> <p>大学からの様々な情報が本サイトの「お知らせ」欄に掲載されます。また、基本情報の登録で入力したe-mailアドレスへも通知します。</p> <p>まず、本サイトの「学びに関すること」を確認し「必要な手続きとe-learning」を行ってください。</p>	
<p>◆学びに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 京都大学の教育体系 <input type="checkbox"/> 大学における単位制度 <input type="checkbox"/> 卒業に必要な全学共通科目の単位数について <input type="checkbox"/> 学年暦と授業時間 <input type="checkbox"/> 全学共通科目でのクラス指定科目 <input type="checkbox"/> 入学前の科目選択 <input type="checkbox"/> シラバスについて <input type="checkbox"/> 時間割の構成のしかた <input type="checkbox"/> 英語教育及びE科目について <input type="checkbox"/> 外国語科目群: 初修外国語について <input type="checkbox"/> 少人数教育科目群: ILAS セミナーについて <input type="checkbox"/> 英語能力試験 (TOEFL-ITP) の受験について <input type="checkbox"/> 学習用ノートパソコンの保有推奨について <input type="checkbox"/> 海外の大学への留学 	
<p>◆必要な諸手続きとe-learning</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 登録済の基本情報の変更 (必要な方のみ) <input type="checkbox"/> 外国語科目履修選択手続 <input type="checkbox"/> 少人数教育科目群: ILAS セミナー抽選申込手続 <input type="checkbox"/> e-learning: 大学生活における基本ルール 	
<p style="text-align: right;">3月25日(金) 17:00までに 3月30日(水) 17:00までに</p>	
<p style="text-align: center;">入学予定者サイトは、3月30日(水) 17:00に閉鎖します</p>	

図2 MUST-DO LIST

3) については、問い合わせ先の電話番号を 5 つ用意し、操作マニュアルに受付時間とともに掲載した。

4 入学予定者サイトの運用実績

入学予定者サイトを実際に運用した平成 28 年度の結果を以下にまとめる。

対象となる予定者数は 2996 名であるが、手続き等の完了率は、締め切り日時点で 99% を超え、登録作業はおおむね円滑に進んだと考えられる。e-learning の修了率は入学予定者自身によるチェック結果を確認すれば 92% と高い数字であったが、e-learning システムの受講データ（修了テストの完了）では、修了率は約 58% であった。実情と学生の自己申告は大幅に異なるとはいえ、その前年度の入学者に 4 月以降に実施した e-learning の修了率はおよそ 37% であったことから改善している。

多数の問い合わせを懸念した電話対応については、15 日間の運用期間で 100 件程度あり、対応しきれないほどの件数には至らなかった。受験生やその保護者のほとんどは、オンラインシステム等の操作に慣れていると考えられる。ただし、問い合わせの中にはパスワード忘れや先述の旧在籍者、現在籍者に対する不具合など ECS-ID アカウントに関連するものが多く、これらについては情報環境機構の学生窓口の協力を得て対応した。

Web サイトの構築にあたっての留意事項の一つは種々のブラウザへの対応である。入学予定者の問い合わせに対し、本サイトでは初回のログイン直後に必要な登録を完了させるためにポップアップ画面が開く仕組みになっているが、Windows Vista 上の Internet Explorer ではこれが開かないという問題があった。Windows Vista では Internet Explorer が Version 9 までしか使えない。家庭で利用されているパーソナルコンピュータは業務などで用いるものより長期に使われることへの配慮が必要である。なお、

該当者にはスマートフォンや高校での共有 PC で対応してもらうようお願いした。スマートフォンへの対応は PC の利用で困難を抱えた利用者に別のアクセス方法を与える点でも有用である。

5 おわりに

本報告では、入学予定者に対して年度当初のスケジュールの緩和のために ID の早期発行と、入学予定者サイトによる各種登録を導入したことを紹介した。これらの取り組みにより余裕を持ったスケジュールで入学手続き等を行ってもらえるようになった。現在、京都大学では大学院生を対象に同様にシステムを稼働させることを検討している。また、本学では全学生に、学生教育研究災害傷害保険等の加入を義務付けているが、その申請手続き等、入学当初に済ませておくべき手続きを集約することも進めている。さらに、留学生への配慮から英訳についても進めている。

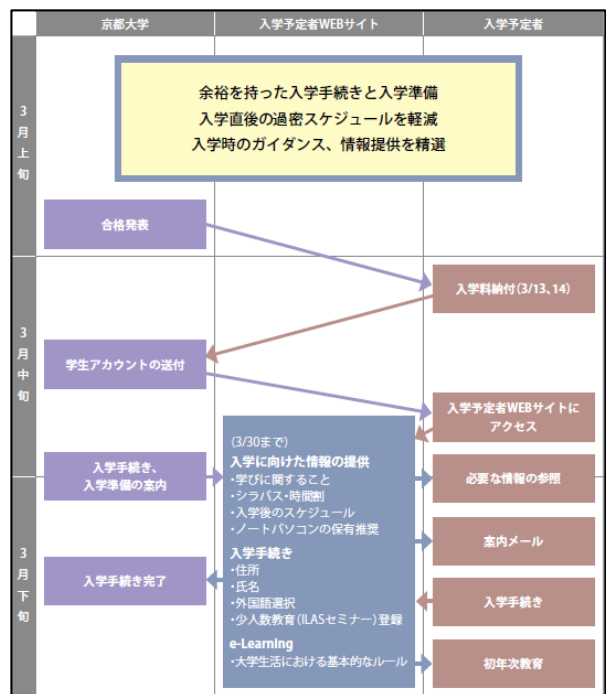


図3 合格発表からの流れ（サイト導入後）

参考文献

[1] 藤村直美：九州大学における学生 PC 必携

化の取り組みとその後について，情報処理
学会 教育とコンピュータ研究会，第 127 回
研究会 (2014)

- [2] 大いに学んで世界に羽ばたけー新しくなっ
た教養・共通教育ー，京都大学国際高等教
育院(2016)